

世界に翔く宮崎牛

<http://miyazaki.lin.go.jp/index.html>

2002年9月号 No.33



みんなの注目が集まる第8回全国和牛能力共進会宮崎県予選会会場風景
(8月2日 児湯畜連にて) (本誌3P)



指導活動で功績のあった指導者表彰が行われました
(6月13日 宮崎市にて)

(本誌6P)



JA 肥育センター・枝肉共助会で優秀な成績を修めた
綾町キャトルステーション出品枝肉 (8月7日、ミヤ
チク都農工場にて) (本誌10P)



本県でのキャンプを記念して、ワールドカップに出場するドイツ、スウェーデンの両代表チームに宮崎牛が贈呈されました
(5月22日、6月7日)

2002年9月号 目次

●地域情報	宮崎県の繁殖農家戸数と母牛頭数の推移 from. 子牛基金協会	1
	第99回宮崎銘柄牛枝肉共進会成績結果報告	2
	和牛枝肉相場等状況報告 from. 経済連	2
めざせ日本一!	第8回全共宮崎県代表牛決定!! from. 家畜登録協会	3
	21世紀の「宮崎牛」はどうなる?!～繁殖牛飼養者意向調査結果 第4報～ from. 県畜産課・子牛基金協会	5
	肉用牛指導者表彰行われる	6
●事業等紹介	平成13年度新マル緊事業補てん金交付実績について～肉用牛肥育経営安定対策事業～ from. 畜産会	7
	それでも、あなたは輸入稲わらを使いますか?～国内産稲わら・飼料イネの利用を～	7
	「BSE対策特別措置法」について from. 県畜産課	8
●技術情報	連動スタンションについて from. 経済連	9
●種雄牛情報	オヤジゆずりの「茂福」号抜群の安定感～JA肥育センター・枝肉共助会～ from. 家畜改良事業団	10
●飼養管理情報	暑熱被害に気をつけて from. NOSAI連	11
●今後の行事予定	(登録検査日程・子牛セリ日程) from. 家畜登録協会	11

情報誌「世界に翔く宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会 ●宮崎県肉用子牛価格安定基金協会 ●宮崎県家畜改良事業団 ●宮崎県家畜登録協会 ●宮崎県畜産会

宮崎県の繁殖農家戸数と母牛頭数の推移

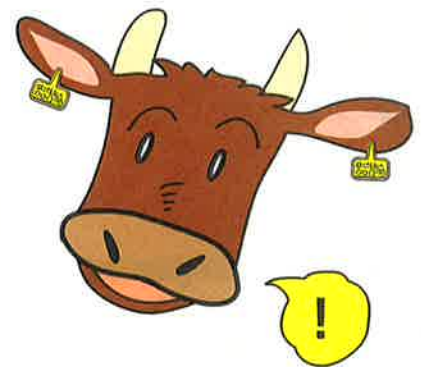
県子牛基金協会では繁殖農家戸数と母牛頭数調査を行いました。戸数は減少傾向にあるものの、昨年と比較すると約2,400頭増加しており（図1）、その母牛年齢別にみた増頭要因では、若い牛（2才代）の増加と中間年齢（8～9才）の減少が大きいことがあげられます（図2）。

宮崎県の繁殖農家戸数と母牛頭数の推移

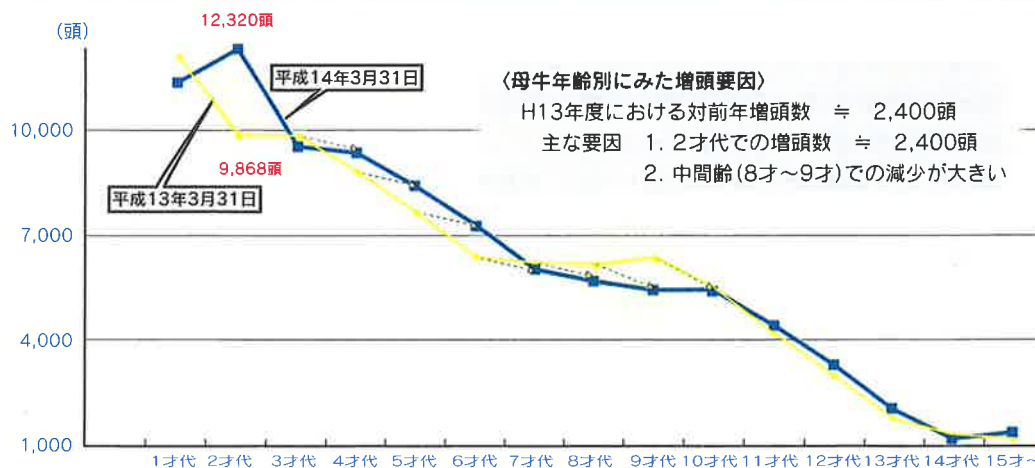


注) 戸数、頭数共に、調査時点は、各年3月31日時点（子牛生産拡大奨励事業データから）とする。

地域等名	繁殖農家戸数(単位:戸)		繁殖農家雌牛頭数(単位:頭)	
	H13	H14	H13	H14
宮崎中部	1,402	1,278	10,601	10,979
南那珂	680	631	5,395	5,496
都城	3,778	3,406	30,111	30,569
西諸	3,382	3,039	20,321	20,845
児湯	1,427	1,313	12,830	13,175
東臼杵	1,627	1,447	6,361	6,657
高千穂	1,527	1,433	5,829	6,153
全県	13,823	12,547	91,448	93,874
対前年比	95.4%	90.8%	101.2%	102.7%



宮崎県における母牛年齢別頭数



注1) 子牛生産拡大奨励事業で報告されたデータから作成した。また、3月31日時点で1才未満のものは集計していない。

注2) 各JAから送られたデータを精査し、正確に把握できるものに限り集計したため、事業の実績頭数とは一致しない。

第99回宮崎銘柄牛枝肉共進会成績結果報告

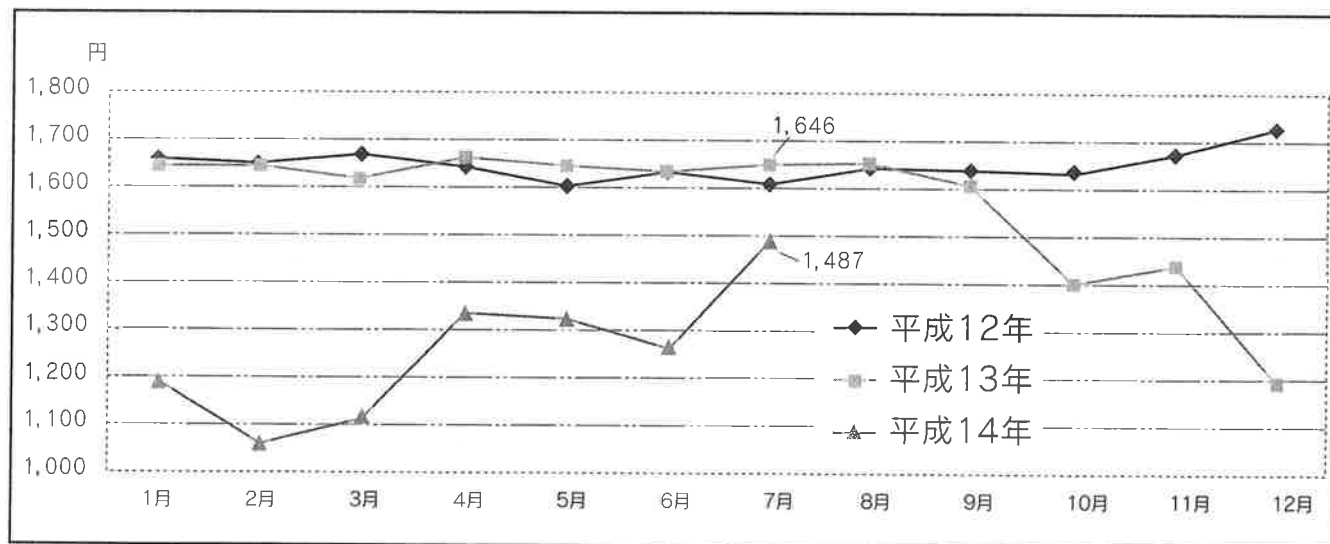
第99回宮崎銘柄牛枝肉共進会が、平成14年6月27日（木）に（株）ミヤチク高崎工場にて開催されました。出品頭数は102頭で5等級率23.5%、4等級率60.8%（上物率84.3%）でありました。入賞者の成績と共進会総平均値は次のとおりです。

入賞区分	JA名	農家名	性別	父牛	母の父	母方母の父	枝肉重量(kg)	BMS No.	等級	枝肉単価(円)	販売金額(千円)
グランドチャンピオン	尾 鈴	黒木 和己	去	安平	隆桜	秀安	483.1	12	A5	5,100	2,464
優秀賞1席	こばやし	馬場 牧場	去	安平	上福	隆桜	500.1	11	A5	4,100	2,050
優秀賞2席	都 城	大野日出夫	牝	安平	隆美	菊安	393.4	11	A5	4,000	1,574
優秀賞3席	はまゆう	安楽 秀光	去	福桜	安平	糸弘2	489.9	9	A5	3,520	1,724
優良賞1席	宮崎中央	鎌田 文正	去	福桜	安平	隆桜	444.8	9	A5	3,320	1,477
優良賞2席	尾 鈴	岩崎 勝也	去	安平	紋次郎	隆美	500.6	9	A5	3,190	1,597
優良賞3席	はまゆう	藤元 次夫	去	安平	福茂	隆美	445.3	9	A5	3,020	1,345
共進会102頭の平均							456.7	6.4		2,209	1,009

和牛枝肉相場等状況報告

JA宮崎経済連規格取引相場表（税別）については、次に示すとおりです。

BSE発生以降、前年相場に比べ大きく下落してきましたが、2月以降前年相場に近づいてきております。



（東京・大阪・京都市場平均）

(和牛産肉形質値について)

JA宮崎経済連が平成13年4月から平成14年3月間に取り扱いました和牛枝肉の成績は次のとおりです。

BSEの影響等で前年に比べ枝肉価格が、去勢で11万6千円、雌で9万5千円下回りましたが、5等級率と4等級率については、去勢・雌ともに前年並みでした。

	頭数(頭)	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラの厚さ(mm)	皮下脂肪厚(mm)	推定歩留(%)	BMS	枝肉単価(円)	5等級率(%)	4等級率(%)
去勢	15,027	431.5	54.0	74.5	26.6	73.6	5.1	1,416	12.4	41.1
雌	8,811	380.6	51.9	71.6	29.3	73.4	4.7	1,257	7.7	29.8

（平成13年4月～平成14年3月）

第8回 全共宮崎県

9月26日から30日まで岐阜県で開催される第8回全国和牛能力共進会の宮崎県代表牛25頭（種牛の部16頭、肉牛の部9頭（3セット））が決定しました。出品牛の詳細は別表のとおりです。

『若い力と育種価で早めよう和牛改良、伸ばそう生産』の開催テーマのもと、開催される第8回全共の出品区分や出品条件等は本紙26号で掲載のとおりです。

本県におきましては、平成11年度から第8回全共宮崎県推進協議会を中心に関係機関一体となって出品対策に取り組んでいます。この間、計画交配時期でもあった平成12年3月には口蹄疫、候補牛の導入が始まった平成13年9月にはBSEと未曾有の出来事が発生し、併せて食品業界の重なる不祥事や低迷続きの日本経済など、和牛経営を取り巻く環境は厳しい状況下にあります。繁殖農家、肥育農家、JA・畜連並びに畜産関係団体のご理解とご尽力により出品対策に拍車がかかっております。そして、平成14年5月に種牛の部86頭、肉牛の部45頭、計131頭を出品候補牛として申し込みをし、各

第8回全国和牛能力共進会宮崎県代表牛

2区～4区〔単品〕

区	名 号	生年月日	血 統			出 品 者	
			父 牛	母の父	母の母方祖父	住 所	氏 名
2	正 福 桜	H12.12.06	福桜	安平	糸秀	宮崎市	宮 崎 県
3	と み 6	H13.07.13	福桜	糸秀	長久	都農町	永 友 浄
	うめここみ	H13.05.07	福桜	糸秀	菊正	都城市	谷 口 實
4	ふ じ 6	H13.02.22	福桜	糸秀	隆美	都農町	永 友 浄

5区〔若雌牛群〕

宮崎中央	名 号	生年月日	血 統			出 品 者	
			父 牛	母の父	母の母方祖父	住 所	氏 名
	あ や 4	H13.04.20	茂福	福桜	隆美	綾 町	小 田 正 広
	ゆみこ2	H13.04.12	糸永桜	安平	誠隆	田野町	竹ノ内 寛 綱
	や す こ	H13.03.15	糸永桜	平茂勝	安平	宮崎市	落 合 幸 夫
	こ ゆ き	H13.02.22	糸永桜	安平	福茂	宮崎市	奥 野 松 美

6区〔繁殖雌牛群〕

西臼杵	名 号	生年月日	血 統			出 品 者	
			父 牛	母の父	母の母方祖父	住 所	氏 名
	第5りつの8	H09.02.20	福茂	頼山	奥高	高千穂町	林 秋 廣
	第5さくら	H08.06.28	福茂	隆桜	秀安	高千穂町	馬 原 由 明
	ひ で か ず	H08.06.26	糸秀	祖母錦	奥高	高千穂町	甲 斐 和 広
	ふくさかえ	H07.03.15	福茂	糸弘2	奥高	高千穂町	佐 藤 良 輝

8区〔総合評価群種牛の部〕

西諸県郡市 和牛育種組合	名 号	生年月日	血 統			出 品 者	
			父 牛	母の父	母の母方祖父	住 所	氏 名
	た か こ	H13.03.16	茂福	安福	高福	高原町	寺 前 辰 雄
	第 2 ふ く	H12.12.23	茂福	福桜	糸晴	小林市	山 田 真 司
	うしわかまる17	H12.10.26	茂福	福桜	糸秀	小林市	今 村 鉄 男
	きよえひかり	H12.11.17	茂福	隆桜	安福	小林市	河 野 哲 慶

代 表 牛 決 定 !!

地域での予選会を経て、7月20日（西諸畜連）に肉牛の部44頭、8月2日（児湯畜連）に種牛の部56頭が集合して代表牛決定検査会を行いました。

代表牛25頭と出品関係者は9月23日にトラック5台、バス3台で陸路 飛騨高山へ出発します。最終比較審査会には全国から種牛の部283頭、肉牛の部186頭が集結しトップの座を競うこととなります。種牛の部は、個体確認、測定、写真撮影の後、27日から審査が開始され29日までには全ての区において等級が決定します。また、肉牛の部は、個体確認、体重測定後、28日に枝肉格付と審査、29日に等級決定とセリが行われます。

期待と使命を背負った宮崎牛の代表25頭が最高の成果を収めて、宮崎牛の名声を更に高めるためにも、残された期間万般にわたり関係者の皆様の更なるご尽力を切にお願い申し上げます。

8区[総合評価群肉牛の部]

地 域	名 号	生年月日	血 統			出 品 者	
			父 牛	母の父	母の母方祖父	住 所	氏 名
宮崎中央	明	H.12.09.27	茂福	福桜	菊安	宮崎市	小 倉 光 彦
J A 綾 町	徳也	H.12.10.25	茂福	福茂	菊安	綾 町	綾 町 農 協
西 臼 杵	茂平	H.12.10.17	茂福	福桜	祖母錦	高千穂町	高千穂地区農協

9区[若雄後代検定牛群]

地 域	名 号	生年月日	血 統			出 品 者	
			父 牛	母の父	母の母方祖父	住 所	氏 名
西 諸 県	幸男	H.12.09.28	花幸平	隆桜	福茂	小林市	竹之内 利 弘
西 諸 県	福	H.12.10.03	花幸平	福桜	糸秀	高原町	奥 野 正 道
西 諸 県	幸一	H.12.10.07	花幸平	隆桜	糸波	野尻町	田 中 利 治

10区[父系去勢肥育牛群]

地 域	名 号	生年月日	血 統			出 品 者	
			父 牛	母の父	母の母方祖父	住 所	氏 名
北 諸 県	太郎	H.12.09.27	秀平9	隆桜	忠福	三股町	福 永 昇
北 諸 県	俊平	H.12.10.13	秀平9	安平	隆美	三股町	別 納 軍 一
西 臼 杵	美代桜	H.12.10.15	秀平9	安平	隆桜	高千穂町	高千穂地区農協

21世紀の「宮崎牛」はどうか?!

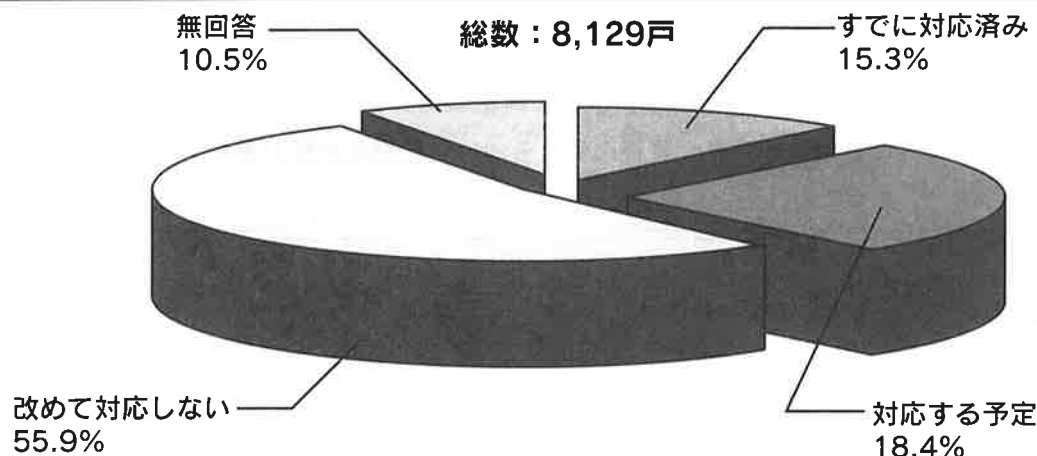
《繁殖牛飼養者意向調査結果 第4報》

今回は、畜産農家にとって大きな課題となっている堆肥処理についての内容を御報告いたします。

(回収率54.2% [8,129戸/約15,000戸]、平均年齢59.4才)

堆肥等の処理状況をみたのが、次のグラフである(図1)。「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」(平成11年11月1日施行)に対し、「すでに対応済み」と「対応する予定」と回答した農家は、全体の33.7%となっている。

図1 堆肥等処理状況別農家数(構成比)



この堆肥等の処理に関し、「改めて対応しない」と回答した55.8%の農家(4,546戸)について、現在の処理状況を見ると(表2)、「牛舎内で堆積した後、作付時に畑へ散布」が53.5%、「堆肥舎(屋根付き)で堆肥化」が20.7%、「畑地に野積み」が13.2%となっている。

また、「すでに対応済み」及び「対応する予定」と回答した農家の約8割が、対応策として「個人堆肥舎の整備(予定)」をあげている(表1)。

表1 処理方法別農家数

	実 数	%
個人堆肥舎を整備(予定)	2,202	80.6
共同で堆肥舎を整備(予定)	95	3.5
行政、農協等の堆肥化施設を利用	139	5.1
地域の堆肥センターへの持ち込み	24	0.9
民間の処理業者へ委託(予定)	16	0.6
そ の 他	105	3.8
無 回 答	151	5.5
合 計	2,732	100.0

表2 「改めて対応しない」農家の堆肥処理状況別農家数

	実 数	%
牛舎内で堆積した後、作付時に畑へ散布	2,433	53.5
堆肥舎(屋根付き)で堆肥化	941	20.7
堆肥舎(屋根なし)で堆肥化	375	8.2
畑地に野積み	601	13.2
そ の 他	83	1.8
無 回 答	113	2.5
合 計	4,546	100.0

また、「畑地に野積み」と回答した農家のなかには、10頭以上を飼養する農家も含まれており（表3）、2004年までの猶予期間内の対応が今後求められてくるものと思われる。

表3 飼養頭数別、「改めて対応しない」農家の堆肥処理状況別農家数

(上段：実数／下段：%)

	合 計	牛舎内で 堆積した後、 作付時に 畑へ散布	堆肥舎 (屋根付き) で堆肥化	堆肥舎 (屋根なし) で堆肥化	畑地に 野積み	その他	無回答
合 計	4,546 100.0	2,433 53.5	941 20.7	375 8.2	601 13.2	83 1.8	113 2.5
1頭	426 100.0	254 59.6	94 22.1	30 7.0	37 8.7	2 0.5	9 2.1
2頭	806 100.0	440 54.6	171 21.2	62 7.7	99 12.3	14 1.7	20 2.5
3～4頭	1,224 100.0	712 58.2	259 21.2	69 5.6	139 11.4	26 2.1	19 1.6
5～9頭	1,374 100.0	710 51.7	250 18.2	137 10.0	212 15.4	24 1.7	41 3.0
10～19頭	450 100.0	198 44.0	101 22.4	53 11.8	79 17.6	10 2.2	9 2.0
20～29頭	67 100.0	24 35.8	18 26.9	6 9.0	13 19.4	5 7.5	1 1.5
30～49頭	22 100.0	3 13.6	14 63.6	3 13.6	2 9.1	0 0.0	0 0.0
50頭以上	6 100.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0

肉用牛指導者表彰行われる

県肉用牛協会（事務局 県畜産会）では、6月13日に行われた総会の席上、肉用牛飼養農家に対する指導に功労のあった肉用牛指導者の表彰を行った。これは肉用牛関係指導者の意欲を高揚し、生産の振興・合理化に資することを目的として、低コスト生産及び生産拡大に顕著な功績をあげ、今後も現場に密着した指導活動が期待される者に対し行われるものである。今回は7名の表彰が行われ、その功績を讃えた。

所 属 団 体	職 責	氏 名
宮崎中央農業協同組合	畜 産 部 長	江藤 幸典
北 郷 町 役 場	農 政 課 畜 産 係 長	徳井 忠次
都城農業協同組合	庄内支所営農経済課長	長谷場 平
えびの市農業協同組合	畜 産 課 長	伊集院 国光
西都農業協同組合	畜 産 課 長 補 佐	楠瀬 和彦
日向農業協同組合	畜 産 課 長	黒木 和男
高千穂地区農業協同組合	上野支所畜産担当係長	三浦 博文

平成13年度新マル緊事業補てん金交付実績について

～肉用牛肥育経営安定対策事業～

平成13年度にスタートした新マル緊事業は今年4月から毎月の補てん金交付となり、平成13年4月から14年5月までに約27億5千6百万円の補てん金交付が行われました（表1）。

交雑種と乳用種の生産者積立金については平成14年1月に表2のとおり改正が行われました。

事業の円滑な推進にご協力をお願いします。

(表1) 肉用牛肥育経営安定対策事業に係わる肥育牛補てん金交付実績

(単位：頭、円)

交付年月	区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	一産取	合 計
平成13年 4月～6月	①交付対象頭数	6,452	0	0	127	6,579
	②補てん金単価	50,900	0	0	36,700	
	③補てん金交付額 (①×②)	328,406,800	0	0	4,660,900	333,067,700
	交付契約生産者数	316	0	0	18	334
平成13年 7月～9月	①交付対象頭数	6,596	0	2,443	58	9,097
	②補てん金単価	60,000	0	6,600	43,200	
	③補てん金交付額 (①×②)	395,760,000	0	16,123,800	2,505,600	414,389,400
	交付契約生産者数	334	0	55	21	410
平成13年 10月～12月	①交付対象頭数	7,959	2,395	2,108	98	12,560
	②補てん金単価	60,000	34,100	28,300	43,200	
	③補てん金交付額 (①×②)	477,540,000	81,669,500	59,656,400	4,233,600	623,099,500
	交付契約生産者数	378	134	55	14	581
平成14年 1月～3月	①交付対象頭数	10,173	4,133	2,361	87	16,754
	②補てん金単価	60,000	34,100	28,300	43,200	
	③補てん金交付額 (①×②)	610,380,000	140,935,300	66,816,300	3,758,400	821,890,000
	交付契約生産者数	382	143	62	14	601
平成14年 4月	①交付対象頭数	3,453	1,834	868	23	6,178
	②補てん金単価	60,000	34,100	28,300	43,200	
	③補てん金交付額 (①×②)	207,180,000	62,539,400	24,564,400	993,600	295,277,400
	交付契約生産者数	310	114	46	10	480
平成14年 5月	①交付対象頭数	3,016	1,793	863	30	5,702
	②補てん金単価	60,000	34,100	28,300	43,200	
	③補てん金交付額 (①×②)	180,960,000	61,141,300	24,422,900	1,296,000	267,820,200
	交付契約生産者数	285	122	48	8	463
合 計	①交付対象頭数	37,649	10,155	8,643	423	56,870
	②補てん金単価	58,441	34,100	22,166	41,248	
	③補てん金交付額 (①×②)	2,200,226,800	346,285,500	191,583,800	17,448,100	2,755,544,200
	交付契約生産者数	2,005	513	266	85	2,869

(表2)

本県における各品種毎の最高補てん額と生産者積立金

(単位：円)

品種区分	基準家族労働費	最高補てん額	生産者積立金 (内県助成金)
黒毛和牛	75,090	60,000	15,000 (1,500)
交雑種	42,663	34,100	8,500 (1,000)
乳用種	35,380	28,300	7,000 (1,000)
一産肥育	54,064	43,200	10,800 (1,500)



それでも、あなたは輸入稲わらを使いますか？

口蹄疫の恐ろしさをもう一度思い出して！

口蹄疫の侵入源：輸入粗飼料の可能性が高い

- 平成13年4月中国の施設が加熱処理等の条件つきで輸入が再開されたが、平成14年4月5日、生きたニカメイガが発見され検疫条件違反により輸入禁止
- 英国では、平成13年に全土に拡大し約400万頭を殺処分
- 韓国では、平成14年5月4日に確認され、6月24日現在13万4千頭殺処分

- 同一地域に一戸でも輸入稲わらを利用する農家があれば、口蹄疫発生リスクは同じです。
- もし、口蹄疫が発生すれば地域全体の畜産農家が大きなダメージを受けます。

安全で安心な国内産稲わら・飼料イネの利用を促進しよう！

- 県内稲わら生産量は約10万トン、うち約2～3割が鋤込み・焼却となっています。
- 耕種農家と畜産農家とが連携して、稲わら・飼料イネの利用促進を図りましょう。



JA等による需給調整

稲わら・飼料イネ

良質堆肥



「BSE対策特別措置法」について

平成13年、我が国で初めての牛海綿状脳症（BSE）が確認され、その後、国民の間に牛肉の消費の低迷といった状況が生じるとともに、畜産農家を含めた食肉業界に混乱が広がりました。

このような中、平成13年11月に農林水産大臣及び厚生労働大臣の私的諮問機関「BSE問題に関する調査検討委員会」が設置され、平成14年4月に提出された同委員会の報告において、危機管理体制の欠落、消費者軽視等の厳しい指摘がなされました。

このような状況の下、平成14年6月14日、BSE対策特別措置法が公布（7月4日施行）されました。

この法律は、BSEの発生を予防し、及びまん延を防止するための特別の措置を定めること等により安全な牛肉を安定的に供給する体制を確立し、もって国民の健康の保護並びに肉用牛生産及び酪農、牛肉に係わる製造、加工、流通及び販売の事業、飲食店営業等の健全な発展を図ることを目的としたものです。

今回、生産者の皆様に関係する箇所について紹介したいと思います。

牛の肉骨粉を原料等とする飼料の使用の禁止

- ①牛の肉骨粉を原料又は材料とする飼料を牛に使用してはならない。（「飼料安全法」及び「飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令」によりすでに禁止）。
- ②肥料として製造・販売されたものであっても、農家段階でこれを家畜等に使用した場合、この肥料は「飼料」として取り扱われることとなり、牛の肉骨粉が含まれる肥料を牛に使用することは禁止されています。（本法及び飼料安全法により）

死亡した牛の届出及び検査

24か月齢以上の牛が死亡したときは、その死亡牛の死体を検案した獣医師（獣医師がない場合は死体の所有者）は、その地域を管轄している家畜保健衛生所に届け出ることが義務づけられました。

また、平成15年4月1日から、24か月以上の死亡牛は、原則として、家畜伝染病予防法に基づくBSE検査を受けることになります。

宮崎県では、死亡牛の届出は、原則として獣医師から届けていただくこととしておりますので、24か月齢以上で死亡した牛につきましては、直ちに獣医師にお知らせいただきますようお願いいたします。

獣医師による検案を受けていない場合は、所有者が届け出ることになりますのでよろしくお願いします。

牛に関する情報の記録等

牛の所有者は、1頭ごとに個体を認識するための耳標をつけ、生年月日、移動履歴などの情報を提供することが義務づけられました。

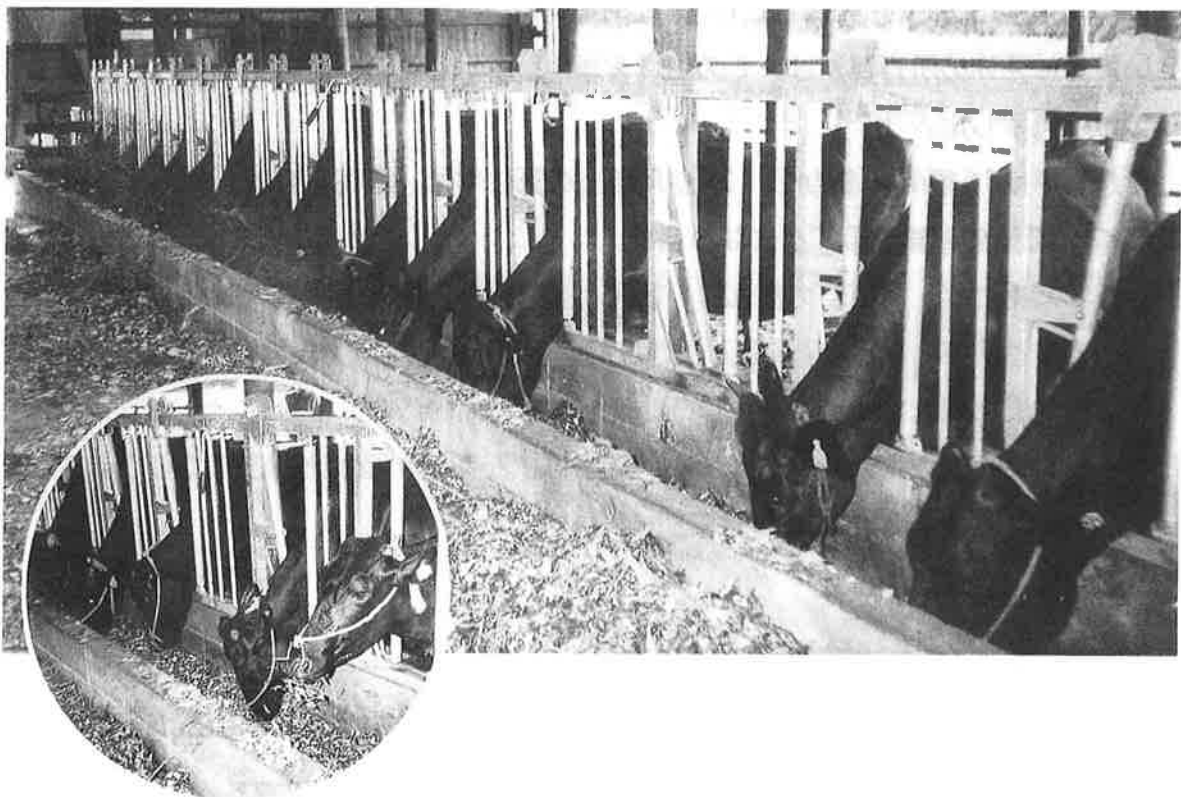
連動スタンションの導入について

肉用牛繁殖経営において、多頭飼育農家が増えてきており、これまでの1頭1部屋の管理形態から群管理による経営の効率化が図られてきております。しかしながら、群管理は、適正な栄養水準に保つ必要があるため、制限給餌が前提となり、牛同士のケンカなどから栄養管理が難しいですが、居住環境が良くなり、ストレスが軽減され発情徴候がハッキリ見える等のメリットもあります。

そこで、この対策として除角とスタンションの活用が多頭繁殖経営の必須条件となります。

連動スタンションの利点・効果

- ①盗食や競合が防げるため、栄養水準の標準化が図られ、過肥・やせすぎなどを防止できます。
- ②除角により1頭当たりの飼槽幅は70cm程度で済み、さらに両側の牛で保定されるため、人口授精や妊娠鑑定等の管理が容易になります。
- ③捕獲が容易になり牛の治療、手入れ、観察等が十分に行えます。
- ④粗飼料を牛房内へ引き込むことがなく、飼料の無駄防止、牛房内の汚れ防止ができます。



JA肥育センター枝肉共励会で オヤジゆずりの「茂福」号抜群の安定感

安平号、福桜号を中心とした現在活躍中の種雄牛の高齢化が進む中、後継の優秀種雄牛造成、肥育技術の向上を目的とした第4回JA肥育センター枝肉共励会が8月7日株式会社ミヤチク都農工場で開催されました。

本県の種雄牛の産肉能力評価方法については、平成12年度から全国和牛登録協会が認定する間接検定法から現場後代検定法へ移行しています。間接検定成績で全国上位の産肉性に優れた結果をだした福之国号、日向国号（脂肪交雑基準値福之国4.2「日本一」、日向国号3.8）について



は、種雄牛の年齢も若く、これから各子牛市場に上場され市場評価を受けることになります。今回は、JA肥育センター枝肉共励会で抜群の安定感を示し即戦力として使える茂福号の産肉成績について紹介します。

茂福号は、西諸県郡高原町で誕生した 父 安平、母の父 福茂 の血を受け継いだ9才の種雄牛です。間接検定成績（平成9年度判明）は、脂肪交雑基準値3.0

ローズ芯面積45cm²の成績で脂肪交雑に定評があり、フィールドでの枝肉成績が判明されつつ、子牛価格にも反映されてきているところです。今回の成績からみると現在活躍中の父安平号、福桜号、上福号にも劣らない成績が期待されるものと思われます。

また、第8回全国和牛能力共進会が9月26日～30日の日程で開催されます。茂福号は、第8区総合評価群に息牛3頭が出品され全共で大きく翔くことを期待します。



血統
父 安平
母の父 福茂
祖母の父 香峰

	頭数	枝肉(kg)	BMS (NO)	ローズ芯	バラ厚	4, 5率%
茂 福	8	429.6	7.3	52.5	8.1	100 %
安 平	6	422.0	6.5	57.7	8.0	66.7
福 桜	6	424.3	5.8	49.7	8.5	83.3
上 福	8	422.5	7.0	53.9	7.8	87.5
出品頭数平均(51)		427.5	6.6	55	8.1	80.4

暑熱被害に気をつけて

これから先、9月、10月へ向けて気をつけたいのが暑熱による病気です。熱射病又は日射病(まとめて熱中症とも表現するようです)の他、暑熱ストレスに原因する病気はいろいろあります。

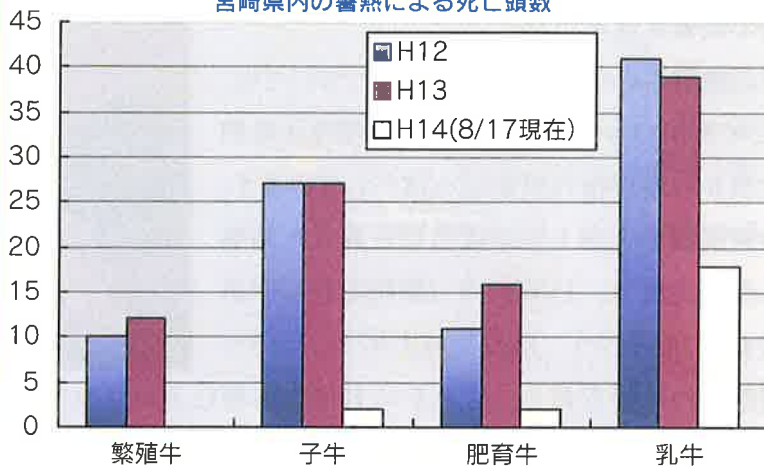
繁殖牛では、繁殖成績の低下(無発情、微弱発情、発情期間の短縮、受胎率の低下、難産・死産の多発)、子牛では、病気に対する抵抗力の低下、肥育牛では、増体量の低下、脂肪交雑の低下及びビタミンA要求量の増加があります。この、ビタミンA要求量の増加とは、言い換えると、牛の体内で、通常より多量のビタミンAが使われるということです。脂肪交雑を向上させるために、一般的に、肥育農家ではビタミンAの給与量を制限していますので、暑熱ストレスに原因するビタミンA要求量の増加はかなり深刻な問題です。すなわち、増体や肉質の低下はおろか、突然死などの死亡・病傷事故が増加し、経営を圧迫します。

グラフが示すように、肉用牛は、乳牛に比べて暑熱による死亡頭数は少ないですが、既に説明したように、暑熱による影響は決して無視はできません。暑熱対策にはいろいろあり、沢山の書物で見ることができます。中には、大変、お金のかかる対策もありますので、できる事から始めましょう。例えば、体温が上昇している夕方に追い討ちをかけるように射す西日を防ぐために、寒冷紗をはるとか、葦簾をもうけるとか、いつも新鮮で飲みたいだけの水を給与する

とか、飼料は、昼間や、夜間(まだまだ牛の体温は下がっていません)は少なくして、できるだけ、体温の低い早朝に給与するとか、長い粗飼料はカットするとか、繊維が多い低品質の粗飼料は避けるとか、食塩、ミネラル及びビタミンを十分に給与するとか、日陰をつくるとか、風通しをよくする(例えば、牛舎の周りの草刈)とか牛体に水をかけるとか、手軽にできることは沢山あります。

いずれにせよ、重要なのは、牛も人と同様に暑く、かなりのストレスを感じていることを忘れないことです。そうすれば肉用牛経営はきつとうまういきます。(NOSAI連 足立幸蔵)

宮崎県内の暑熱による死亡頭数



今後の行事予定

登録日 子牛セリ市開催日 青の文字:黒毛和種成雌牛登録検査日程

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	宮崎		児湯		高千穂		宮崎		都農		西諸		東諸		西諸		東諸		西諸		東諸		西諸		東諸		西諸		東諸		
	宮崎		佐土原		田野・清武		西都		都農・川南		児湯		高千穂		西諸		東諸		西諸		東諸		西諸		東諸		西諸		東諸		
		南那珂		串間・大東		小林								敬老の日		振替休日		西臼杵		田原・上野		日之影・岩戸		高千穂・五ヶ瀬							
		南郷・日南																													